

ともいき通信



『ともいき通信』は、人と動物の共生センターに協力してくださっている方と、センターをつなぐニュースレターです。人と動物の共生センターの活動の様子を、会員や配布先の皆様にお知らせしています。

NPO法人 人と動物の共生センター 会報誌VOL. 6 2016. 4月発行



ごあいさつ



みなさんこんにちは！2016年度が始まりました。皆様、体調はいかがでしょう？

昨年11月に新店舗&事務所に移転し、新天地にて事業を加速させてきました。犬のしつけ教室事業では、年間のべ約3000組の飼い主様にご来校いただき、指導させていただきました。行動クリニックでは年間約100例の診察を行いました。非常に多くの方から必要とされている事業であると改めて感じ、今後もより一層力を入れていく所存です。また、2016年4月からは、購入金額の10%が寄付になる犬の雑貨屋もオープンし、これまでと違った方向から飼い主様への働きかけを行っていけるようになりました。

今年以降、これまで準備してきた事業を形にしていく場面が多くなってくると感じています。犬の雑貨屋だけでなく、高齢ペット飼育者への支援、ペット産業のCSR推進はソーシャルインパクト創出に必要な事業です。人と動物の共生センターは、専門性と事業性という強みを活かし、広く社会に影響できる事業を育て、新しいアイデアを具体的な事業として社会に提案していくことで社会を変えていきます。

活動へのご参加、ご支援、ご声援をいつでもお待ちしております！

(理事長 奥田 順之)



ONELife・雑貨屋オープン!



11月に新店舗に移転して5か月が経過し、新店舗での活動がひと段落しました。それに伴い、この4月から当初から予定していた雑貨屋を正式にオープンいたしました。

より一層飼い主様、犬好きの皆様にご満足していただけるよう、以下の3つの特徴を持つ雑貨屋として、商品・サービス共に充実させていく予定です。皆様ご協力のほどよろしくお願いたします!

①なんでも相談窓口

プレミアムフードなど日常で使うものから、首輪・リードはもちろん、多種にわたる知的玩具など専門的な物品まで、飼い主様のご相談に乗りながら、最適なものをご提案いたします。使い方がわからない…こんなもの探しているん



だけど…などなど、どんな相談にも対応いたしますので、お声かけお待ちしております。

②情報発信・交流の場

お客様への情報発信・お客様同士の交流の場として、はみがきセミナーや高齢犬セミナー、クリスマス会やBBQなど、セミナーやイベントを月1~2回開催していく予定です。ご興味のあるセミナーやイベントには是非ご参加下さい♪こんなセミナー・イベントやってほしい!というご希望にもお応えいたします!

③身近な社会貢献

店での売上の10%は、岐阜県内で活動する犬猫保護団体への寄付(5%)と、譲渡会や子ども向けイベントの運営費(5%)として使用させていただきます。そして、毎月第3週の営業日は、ご自身が応援している・応援したい!と思われる団体を選んで、お買い上げいただいた金額の10%を団体へ寄付させていただきます。買い物という身近で気軽にできる社会貢献に、是非ご参加ください!(報告:奥田奈美)



保護犬猫譲渡会&小学生向け啓発イベント



2016年3月21日にONELife新店舗にて、保護されている犬猫の譲渡会と小学生向け啓発イベント 目指せペットマスターを同時開催しました!今回のイベントでは、ONELifeのボランティアチーム「ともいき」が中心となり、岐阜大学学生団体『DreamBox』や、犬猫の保護譲渡活動団体(3団体)と協力して実施しました。小学校に広報チラシを配布し、約400人の親子に参加してもらうことが出来ました。

DreamBox企画の犬猫の殺処分問題について考える謎解きウォークラリー、保健所に飼育放棄され保護された犬猫の譲渡会に参加してもらうことを通じて、犬猫の飼育放棄が実は自分の身近で起こりえることだと気付くきっかけになってもらえればと企画しました。

当日は、開場前に行列ができる程の人気の、ウォークラリーを楽しむ子どもたちの姿や、保護犬猫についてボランティアさんに詳しく聞いている家族の方が見られました。『自分の飼い犬をもっと大事にしようと思った』という感想をくれた小学生の子もいました。また、譲渡会に来たのは今回が初めてという方が8割を超え、



当日の様子
左上:譲渡会を見学する人
左下:店舗外のバザー
右上:保護犬

今まで関心がなかった方へも知っていただく機会になりました。

今回、協力いただいた保護団体で犬が3頭、猫が4頭のトライアルが決まったそうです!新たな出会いが幸せなものとなるようにこれからも応援していきたいと思ひます。

みんなが気付けばきっと変わる。今後の「ともいき」ボランティア活動は飼育放棄を減らすという蛇口を閉める活動に力をいれていきたいと思ひます!

(報告:鈴木恵美子)



高齢ペット飼育者支援事業開発中



現在日本では年間2万4千頭前後の犬猫が所有者から保健所に飼育放棄されています。そのうち半数以上は60代以上の高齢者であり、飼育放棄の理由『本人の入院の死亡』が最も多くなっています。

飼育放棄は、①関係性の問題（しつけ・問題行動）、②高齢化（飼い主の入院・死亡・生活力の低下）③経済的課題（離婚・失業・災害等を含む）の3つの要因が大きく影響していると考えられます。

人と動物の共生センターではONELifeを通じて関係性の問題にアプローチしてきましたが、高齢化に対する対策として、『ペット後見&コミュニティ・とものわ』を立ち上げるべく準備を行っています。

『とものわ』は、万が一飼えなくなってしまう時に安心して託せるセーフティネットを作ることを目的に、弁護士・行政書士・高齢者支援事業者・ペットホテル経営者・獣医師らと共に勉強会を立ち上げ、事業構想を練ってきました。

昨年度、東海ろうきんのNPO育成支援助成を頂き、セミナーを開くなど、事業準備を加速させてきました。

現在の構想としては、万が一飼えなくなってしまうかもしれないと考えている会員同士でオフ会を開催し、顔見知りになっておくことで、もし自分が飼えなくなっても次の人にバトンパスできるコミュニティを築いていこうと考えています。オフ会開催、会員組織、所有権移転などの調整役を人と動物の共生センターが担うというイメージです。

夏に第1回のオフ会&セミナーを開催予定です。セーフティネット作りに参加していただける方オフ会&セミナーにお越しください。



（報告：奥田順之）

2016年1月19日
高齢者とペットの共生セミナー
@美濃加茂市
主催：愛犬の命を守るフェス



ペット産業の社会的責任の推進



企業の社会的責任とは、「責任ある行動がビジネスの持続的な成功をもたらすとの観点から、企業が事業活動やステークホルダーとの交流の中に、自主的に社会や環境への配慮を組み込むこと」と定義されています。犬猫の飼い主さんが最期まで大切に飼える社会に向けて取り組みを行っていく上で、ペット産業は重要なステークホルダーであり、最大規模の協働者です。

ペット関連企業とっては、2013年、動物愛護管理法が改正され、ペット販売業者に対する規制が強化されたこと、2014年ごろより犬の大量遺棄事件が相次いで報道されたこと、動物愛護団体等から多くの批判があることなど、社会的責任を推進の必要性は益々高まっていると言えます。

人と動物の共生センターでは、調査・研究・提言を通じて、ペット産業への働きかけを行っています。2015年12月5日には、東京アリミノホールにて、ペット産業の社会的責任を考えるシンポジウムと題し、ペットオークションの協会、（一社）ペットパーク流通協会会長上原勝三氏、行動学がご専門の日本獣医生命科学大学准教授

水越美奈氏、社会的責任推進の分野で様々な企業・自治体・NPO等との協働を行っているIHOE代表の川北秀人氏にお越しいただき、講演・パネルディスカッションを行いました。

ディスカッションでは、情報公開の必要性、業界の自主基準と自主規制の確立、優れた企業を褒める制度、高齢化社会への対応としての販売ではなく貸与の可能性、等が議論されました。

また、2016年3月6日には、ヒトと動物の関係学会にて「ペット販売業の持続的な経営に必要な社会的責任の考察」と題し、口頭発表を行いました。

今後は、これらの取り組みで得た、知見とつながりを深め、具体的な取り組みにつなげられるように、自主基準や評価制度の策定の後押しをしていきます。そのために、ペット産業の社会的責任とは何か？についての定義を示すことが出来る様な、企業と連携した調査を実施し、学会発表や白書等の形での提言を行っていくことを予定しています。

（報告：奥田順之）



それぞれの『想い』のコーナー



人と動物の共生センターには、たくさんの方がかわわり、人と動物が良き共生を歩めるように活動しています。『それぞれの想いのコーナー』6回目となる今回は、トリミングサロン<ワンズライフ>を運営されている東條さんに、活動に対する想いを教えていただきました。



(東條 由紀子)

犬という”偉大な先輩”から 学び、成長していきたい

トータルペットケアワンズライフを夫婦でOPENして10年。ワンちゃんの美容とホテル、ドッグフードやグッズ販売をしています。10年という時間で飼い主さんとワンちゃんたちから、色々なことを教えてもらっています。

トリマーという仕事は、ワンちゃんをキレイにすること、かわいくすることだけが仕事ではありません。私たちは、キレイにする、かわいくすることはもちろんですが、約1時間から2時間くらいの間、ワンちゃんの体を触ることができるので、皮膚の赤みや、キズなど、飼い主さんが、普段気づきにくいことに、気づいてあげることができます。いつもはおとなしいのに、嫌がったりする場合、もしかしたらケガをしているのかもしれない。など健康チェックに力を入れています。

そしてもうひとつ大切にしていること。それはワンちゃんを少しでも早く、大好きな飼い主さんのもとに、おかせしすることです。ワンちゃんは、決して、美容されることが好きではありません。

バリカンやはさみ、ドライヤーの音などで、緊張する子がほとんどです。そのあいだ、嫌がる子もいますが、じっと我慢してくれる子もいます。できるだけはやく、ご家族のもとへ帰してあげられるように、がんばってくれているワンちゃんのことを一番に考えるようにしています。

そして、ワンちゃんだけではありません。ご家族も、言葉をもたないワンちゃんたちへの不安、悩みが、たくさんあると思います。一緒に考えて悩んで、みなさんに楽しく、安心な毎日を送っていただきたい。そのお手伝いができたらと思っていますので、美容以外のご相談も、お気軽にしていきたいと思っています。

私たちの10倍のスピードで生きているワンちゃんたち。生きていくことの全てを早回しで私たちに見せながら教えてくれる、偉大な先輩です。こんな素敵なワンちゃんたちと生きていく選択をしたみなさんとこれからもいっしょに悩み、考え、成長していきたいと思っています。



ご支援くださった皆様 (2015年7月~2016年3月)



(敬称略・順不同)

小牧恵里子 鈴木和博 下里清人 田口尚也 市川公一 村瀬俊高 伊藤史哉 水野眞之 大柿忠相
山下國廣 佐藤純子 後藤美咲 矢野智光 佐藤貴枝 大川茜 下村香弥子 石川幸子 鈴木恵美子
奥田奈美 奥田順之 島田由紀子 中谷圭 柿沼綾子 中谷明美 渡辺英毅 東善朗 東條由希子
亀谷真由美 村上仁 村上暢子 川上幸子

たくさんの方からご支援いただきました。ありがとうございます！
本会の活動は、皆様からの想いと真心によって支えられております。
今後とも、ご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

【お問い合わせ・連絡先】

特定非営利活動法人 人と動物の共生センター 〒500-8225 岐阜市岩地二丁目4-3

【TEL】058-214-3442 【E-mail】info@tomo-iki.jp 【HP】http://tomo-iki.jp/

お気軽にお問い合わせください☆